

1. 目指す姿

多くの市民が芸術文化活動に参加し、ゆとりと潤いのある豊かな生活をしています。

2. 基本方針

- (1) 芸術文化の振興を図るため、芸術文化の鑑賞および発表機会の充実に努めます。
- (2) 芸術文化活動を支援するため、芸術文化団体および人材の育成に努めます。
- (3) 文化施設の有効活用を図るため、既存施設の整備に努めます。

3. 各種施策の実施状況及び成果、課題（現 教育振興基本計画の検証作業）

「芸術文化」については、多くの市民が芸術文化活動に参加し、ゆとりと潤いのある豊かな生活を送ることを目指し、芸術文化の鑑賞および発表機会の充実に努めるとともに、文化団体および人材を育成するため、各種事業に取り組んでおります。

成果としましては、音楽堂においての様々なコンサート等、古関裕而記念音楽祭の開催、小学生を対象とした演劇鑑賞教室開催等により、市民が広く芸術文化を鑑賞する機会や、次世代を担う子どもたちの感性や創造性の醸成に努めたところです。

課題としましては、現在開催しているコンサート、鑑賞教室、音楽祭等の事業内容を充実させ、より魅力的な鑑賞機会の提供を行うとともに、次世代の文化活動を担う若い世代の育成や支援への取り組みを行うことです。また、老朽化した施設・設備は速やかな改修を進め、利用者の安全や有効活用を目指します。

4. 基本方針を推進・実現するための主な重点事業

(1) 古関裕而記念音楽祭事業

本市が生んだ昭和を代表する作曲家・古関裕而氏の功績を永く後世に伝え、古関メロディを継承するために、古関裕而記念音楽祭を開催する。市民参加型を基本とし、5年に1度は鑑賞型の音楽祭で、質の高い音楽を提供する。若い世代の参加を図り、次世代へ古関メロディを受け継ぐことを目指す。

(2) 音楽堂コンサート事業

音楽堂の運営方針である「音楽文化による地域創造」を実現するため、次の点を基本的な柱として、様々なコンサート等を実施する。

- ①音楽文化の多様性の紹介（オーケストラ 世界の民族音楽祭等）
- ②音楽文化を通じた新たな人材育成（パイプオルガン講習会等）
- ③地域文化活動の支援（敬老訪問コンサート）

(3) 音楽堂・古関裕而記念館施設改修事業

老朽化した施設・設備の計画的な整備を進め、快適な利用環境の維持と利用者の安全性の確保に努める。

(4) 中学校音楽部活動支援事業

中学校教育研究会が推薦する中学校の音楽部活動（合唱・器楽）を対象に、講習会等の経費を助成し、演奏力の向上を図る。

5. 主な指標

指標名	現状値(H26)	目標値(H32)	説明
音楽堂利用者数	137,217	141,000	主要な文化施設である音楽堂の利用者数により、市民が音楽活動に親しんでいる状況をはかる指標です。音楽団体の育成や利用率の向上を図ることにより、現状値から3%の利用者数の増加を目指します。